

怖い情報漏洩。変えられない運用。**対策**があります。

USBメモリ管理のリスクと問題



! 情報漏洩事件は 2008 年度から増加傾向

一件あたりの賠償金額は

驚くことに **2億 6,683万円**

通信手段の高速化 & 記憶媒体の大容量化

➔ 被害が大きくなる傾向

●2009 年 個人情報漏洩インシデント 概要データ

漏洩人数	572万1,498人
インシデント件数	1,539件
想定損害賠償額	3,890億4,289万円
一件あたりの漏洩人数※1	3,924人
一件あたり平均想定損害賠償金額※1	2億6,683万円
一人あたり平均想定損害賠償金額※2	4万9,961円

※1：平均値は、被害者数が不明のインシデント 81 件を除いて算出している。

※2：この平均値は一件あたりのばらつきを吸収するため、まず、各インシデントの一人あたりの想定損害賠償額を算出し、そこから全てのインシデントの一人あたりの想定損害賠償額の平均額を算出している。よって、想定損害賠償総額を漏洩人数で割った値ではないことに注意されたい。

引用資料：2009 年情報セキュリティインシデントに関する調査報告書 第 1.1 版 (© Copyright 2010 NPO Japan Network Security Association (JNSA))

MCore なら…問題解決の 4 つのポイント

利用状況がわからない



解決

1

接続したデバイス情報を自動収集・管理

ウイルス感染・情報漏洩



解決

2

指定 USB（暗号化機能付き）のみ使用許可

紛失・盗難が心配



解決

3

定期的に所持確認（紛失チェック）を実施

何が入っていた？
紛失時の影響は？



解決

4

持ち出しファイルの情報を簡単収集・管理

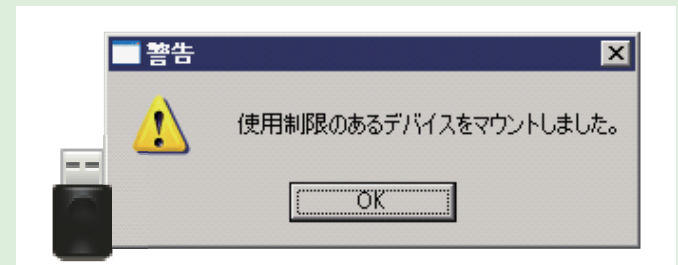
USBメモリの運用管理（外部デバイス制御機能）

USBメモリの利用状況の把握



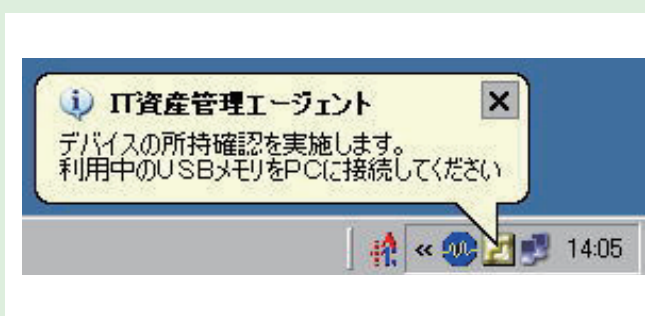
ユーザが USB メモリを PC に接続すると、自動的に USB メモリの情報（メーカー / 型番 / 製造番号）を読み出し MCore サーバに登録します。

指定 USB メモリだけに使用制限できます



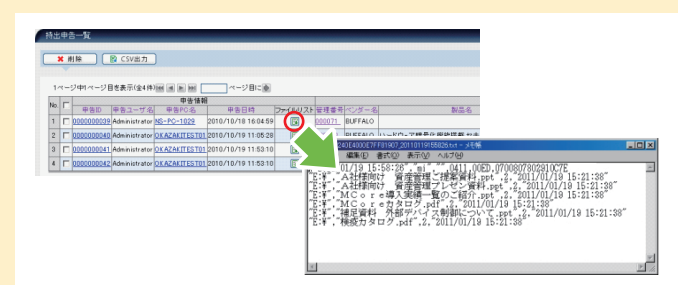
管理者が許可したデバイスのみ使用させることができます。また申請ベースで一時的に使用を許可することもできます。

所持確認（紛失チェック）



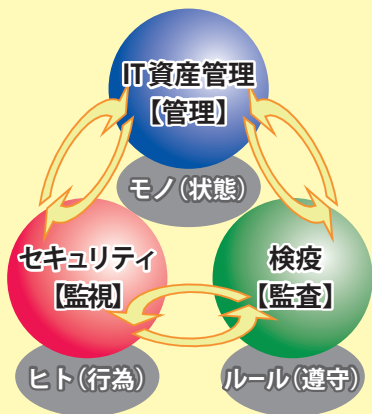
貸出しているUSBメモリを所持しているかチェックできます。これにより紛失疑いのある外部デバイスを検出できます。

万一 USB メモリを紛失した場合



持ち出す予定のUSBメモリの内容を予め収集します。紛失など不測の事態でも持ち出したファイルを特定できます。影響範囲を特定することで迅速で的確な対策が打てます。

IT 戦略に実効的な機能をオールインワンで提供する MCore



管理

- ・IT 資産を誰がどこでどのように使用しているかを的確に捉えます。
- ・ソフトライセンスの管理からパッチの自動適用まで幅広くサポート。

監視

- ・PC 操作のログを記録することで抑止力を高めつつ、万一にも備えます。
- ・Winny 等の危険なソフトは起動をブロックするなど不正を逃しません。

監査

- ・管理者の代わりに PC の健全性を定期的に自動チェック。
- ・違反 PC を隔離→是正するサイクルが内部統制の推進を自動化します。

クライアント管理のリスクとコストを下げ&モラルとセキュリティを向上するツールです！

住友電工システムソリューション株式会社

ソリューション営業部
〒112-0014 東京都文京区関口 1-43-5 新目白ビル
TEL. 03-5273-7587 FAX. 03-5273-7574
URL. <http://mcore.jp/>

●お求め、お問い合わせは当社までどうぞ